

**製品名: TMEM173 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab19052**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	38kDa

## 抗原情報

遺伝子名	TMEM173 ERIS MITA STING
別名	TMEM173; ERIS; MITA; STING; Transmembrane protein 173; Endoplasmic reticulum interferon stimulator; ERIS; Mediator of IRF3 activation; hMITA; Stimulator of interferon genes protein; hSTING
遺伝子 ID	340061.0
SwissProt ID	Q86WV6
免疫原	膜タンパク質 173 から得られた合成ペプチド (アミノ酸範囲: 301-350)

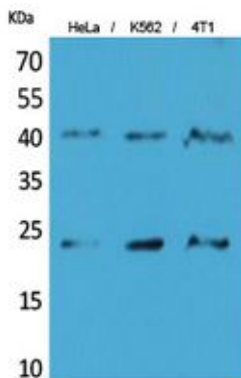
## 背景

この遺伝子は、ウイルスや細菌感染に対する自然免疫応答の主要な調節因子として機能する 5 回膜貫通型タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、細胞質核酸を検出し、I型インターフェロン応答を活性化するシグナルを伝達するパターン認識受容体です。また、コードされているタンパク質は、II型主要組織適合遺伝子複合体と結合することでアポトーシスシグナル伝達に役割を果たすことも示されています。この遺伝子の変異は、乳児発症型 STING 関連血管症の原因です。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 9 月]、機能：自然免疫シグナル伝達の促進因子として機能します。NF- $\kappa$ B と IRF3 の両方の転写経路を活性化して I 型インターフェロン (IFN- $\alpha$  および IFN- $\beta$ ) の発現を誘導し、発現後に強力な抗ウイルス状態を発揮します。トランスロコンの機能に関与している可能性があり、I 型インターフェロンの誘導に影響を与える可能性がある。主要組織適合性複合体クラス II (MHC-II) との会合を介してアポトーシスシグナルの伝達に関与している可能性がある。細胞外シグナル調節キナーゼ (ERK) 経路の活性化を介して細胞死シグナル伝達を媒介する。、PTM: MHC-II の凝集時にチロシン残基がリン酸化される。、サブユニット: MHC-II 複合体と (類似性により) 会合する。DDX58/RIG-I、MAVS/VISA、および SSR2 と相互作用する。、組織特異性: 普遍的に発現する。、

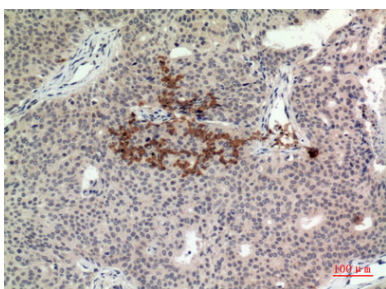
## 研究分野

RIG-I 様受容体;細胞質 DNA 感知経路;

## 画像データ



TMEM173 ポリクローナル抗体を用いた HeLa、K562、4T1 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



パラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された